



SAIE かわら版

vol. 84

国籍を超え、相互理解を深め、「つながり・きずな」を大切に

参加者募集

SAIE主催
イベント
01

WEB講習会(第2回) ～ZOOM活用法～

講師
橘明日香さん
(モバイルエール代表)



ZOOM ツールの活用法や効率的な運用方法について、具体的に分かりやすく教えて頂きます。

- 日程：2021年8月31日(火) 午後2時～4時
- 場所：コミュニティプラザ 会議室5、6
- 対象：ボランティア及び国際交流に関心のある方
- 定員：20名
- 参加費：無料 (Zoom 参加も可、要予約)
- 申込：協会まで電話・メールで受付

*スマホやタブレットをお持ちください。会議室はインターネット環境が整っています。
*オンラインイベントの企画メンバーを募集中！
あなたの“やってみたい”を応援します。

参加者募集

SAIE主催
イベント
02

日本語支援ボランティア養成講座 スキルアップ編

～『きいてまねしてはなして』を使って～

講師
安田乙世さん
(教材執筆、日本語教育支援
グループ「ことのは」理事)



2019年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育授業により作成された教材「きいてまねしてはなして」を紹介して頂き、地域日本語教室の目指すものやその役割について確認するとともにその使用方法、また実践例について学びます。
併せて、コロナ禍の影響で変容のプロセスにある日本語教育現場の現状を踏まえながら「オンライン」や「対面」の学習支援の可能性についても改めて考えてみます。

- 日程：2021年9月14日、21日、28日(火)
午後2時～4時
- 場所：コミュニティプラザ 会議室4
- 定員：16名
- 参加費：無料 全3回(1回のみ受講可)
- 申込：協会まで電話・メールで受付

*新型コロナウイルス感染拡大の状況により、予定を変更する場合があります。

JOCA大阪主催イベント

JICA海外協力隊 ～なんでも相談Cafe～

QRコードからも
応募可能です！

JICA 海外協力隊について、いろんな相談事例が豊富なスタッフや協力隊 OBOG に、なんでも相談できます！協力隊、気にはなっているけど、正直よくわからない。進路やキャリアの点で参加するか悩み中…。合格するための準備、なにからしていけば良いの？などなど、大勢の説明会場ではなかなか聞けない、ぶっちゃけトーク(現地の苦労話など)もできます！開催日は、原則、毎月第1木曜の午後7時～8時(もしくは8時半)です。是非ご参加ください。

- 8月の日程：8月5日(木) 午後7時～8時(オンライン@Zoom 開催)
- 内容：1. JICA 海外協力隊 概要説明(約30分)
2. JICA 海外協力隊 OBOG による体験談(約20～30分)
3. 質疑応答・相談(約30～40分)
- 申込：<https://forms.office.com/r/gFgK9D1K5n>

*ご報告：2021年度定期総会 書面決議の結果について
全ての議案について、全員一致で可決されました。賛成 166 反対 0

Essay

オーストラリアでの 介助犬インターンシップ

C・Nさん（摂津市在住、25歳）

私は21歳のとき、大学を1年間休学し、オーストラリアに留学しました。留学の目的はクイーンズランド州にある、介助犬訓練協会のインターンシップに参加することでした。



小学生から大学生、そしてインターンシップ参加まで

私は、小学生の頃から犬が好きで、将来の夢は“犬に関わること”でした。両親が海外志向ということもあり、中学校と高校は国際科の学校に通いました。16歳のときに1年間ニュージーランドに留学し、そこで出会った人から影響を受け、福祉に興味をもちました。犬と福祉という2つに興味があり、どちらにも携わることができる仕事はなにかを考えたときに“介助犬”が思い浮かびました。その日以降、私は介助犬について深く知りたいと思い、福祉を学ぶことができる大学へ進学することに決めました。

大学では障害者と介助犬について主に学び、それだけでなく、留学生と接する機会も多くありました。彼らの影響もあって、私ももう一度留学をしたいと思い、

留学をするならば、障害者と介助犬について学びたいと考えました。インターネットで海外の介助犬について調べる中で、オーストラリアは諸国より介助犬が進んでいると知りました。現地の介助犬訓練協会をいくつも調べるうちに、ある補助犬訓練協会に出会いました。その協会は補助犬事業だけでなく、ペット事業、探知犬事業、警察犬事業、セラピー犬事業など、数多くの事業を行っているのです。私はその協会に興味を持ち、自らコンタクトを取りました。事業内容が興味深いだけでなく、CEOの印象も非常に良かったため、インターンシップに参加したいと熱意を伝え、受け入れてもらえることになりました。

オーストラリアでのトレーニング

2017年3月より補助犬訓練協会に住み込みでインターンシップが開始しました。語学学校には行かなかったため、現地では日本人と関わるのがなく、四六時中英語のみで生活をしていました。さらに、介助犬訓練で使用する専門用語は多く、初期は心が折れそうになりました。しかし、幼い頃からの夢を追いかけるためには最高の環境でした。最初の2週間で基礎的な犬の訓練方法を学びました。2か月が経つと、ある訓練犬を私が正式に担当することになりました。その



訓練犬はラブラドルレトリバーのオスで、名前はマックスといいます。年齢は不明、恐らく1歳になる手前と協会の方から聞きました。なぜ不明かという、マックスは動物保護施設から引き取った犬だからです。初めてマックスに出会った日を忘れることはできません。骨が浮き出るほど痩せて、落ち着きもなく、言うことを聞く様子は全くありませんでした。私はショックを受けましたが不安は全くなく、「この犬を立派な介助犬に育てたい」という高揚感でいっぱいでした。最初は“クリッカーインプリントトレーニング”というクリッカーの音が鳴ると、ご褒美がもらえることを覚えさせる訓練から始まり、お座り・伏せ、横について歩かせる訓練をしました。私が重要な人物だと認識させ、信頼関係を築き、1ヶ月後重要な訓練が始まりました。ボタンを押す、ゴミ箱に物を入れる、戸



棚を開けて中の物を持って来させる、さらには一緒に寝転がり、テレビを観るという訓練が始まりました。コミュニケーション手段は“触ること”“アイコンタクト”“声”しかありません。一瞬のタイミングを逃さず褒めたり叱ったりすることで、マックスは徐々に介助犬に必要な動作を覚えていきました。やがて、ショッピングセンターや飲食店での訓練も開始しました。



訓練犬と少女の出会い

訓練開始から5か月もすると、マックスのパートナーになる7歳の少女に出会いました。初めて少女が協会に来たとき、彼女は落ち着きがなく、不穏な様子で、マックスには全く興味を示しませんでした。しかし、その日の訓練が終わる頃、少女の様子が徐々に変化し、マックスに興味をもち始め、少しですが触ろうとしました。そして、笑顔を見せたのです。私はそのとき涙が出そうなほど、感動しました。「犬を通して多くの人の笑顔を見たい。犬には人を笑顔にする力がある。」と改め

て感じ、これが私の夢なのだと思います。

全ての共同訓練が終わり、政府から承認を受け、マックスはこの少女と共に一生を歩んでいくことになりました。少女はマックスというパートナーを得たことで、以前より明るくなり、介助犬はとても偉大な存在だと感じました。また、救われたのは少女だけではありません。マックス自身も少女に出会ったことで救われたのです。もしも少女に出会っていなかったら、マックスは人の温もりを知らないままだったかもしれません。



セラピー犬の活動

私はセラピー犬事業にも参加しました。介護施設・障害者施設や特別支援学校に訪問し、入居者様や子供たちに犬に触れてもらいました。月に1回訪問している介護施設で、或る方に出会いました。その方は「毎月セラピー犬に会えるのが楽しみで日々過ごしている」と涙ながらに語っていました。このような瞬間が本当に嬉しくて、どうしようもなかったです。特別支援学校では、体を動かすのが困難な子供が犬に触れるために手を伸ばそうとし、これには先生方も大変驚いていました。私は、犬がこのような奇跡を起こす瞬間を目の当たりにし、衝撃を受けました。

帰国後、そして現在から今後へ

帰国後、私は大学で“介助犬が障害者に与える影響”を身体的・精神的・社会的な視点から研究しました。現在は希望の会社に入社し、会社員として働いています。

約1年間オーストラリアでのインターンシップを経験し、自分が行ったこと、そして、これからの未来に誇りを持ちました。今後も犬を通して、より多くの人を笑顔にしたいです。

インドネシア
じゃんけん



日本のじゃんけんというと「グー」=石、「チョキ」=はさみ、「パー」=紙ですが、インドネシアでは「象」=親指、「人間」=人差し指、「アリ」=小指でジャンケンをします。日本のように「じゃんけんぽん」や「いんじゃんほい」などの言葉は発しません。タイミングをみて出します。勝ち負けは「象」>「人間」、「人間」>「アリ」、「アリ」>「象」です。理由は「象」は「人間」を踏み潰すから。「人間」も「アリ」を踏み潰すから。では「アリ」は？正解は、「アリ」は「象」の耳に入ってやっつけるからです。「象」より「アリ」が強いなんて意外ではありませんか？



新

事務局長

有山 泉



皆様方には、日ごろ摂津市国際交流協会の活動になにかとご理解賜り感謝申し上げます。私は市役所で行政に携わり、施設管理公社で事業に関わらせていただき、摂津市にお世話になって45年余りになります。

今回、国際交流という分野の仕事させていただくにあたり、日本語が不自由な外国の方々への防災や環境など生活に必要な情報提供やサポートなどに積極的に取り組んでいきたいと思っております。また、国際交流、多文化共生に貢献できるよう努めます。

西島前会長、野村前事務局長のご努力により、本年から協会のスタッフ体制などの充実が図られました。この体制の中、阪井新会長をはじめ、ボランティアの方々と力を合わせて国際交流活動に全力で取り組んでまいります。皆様方には、今後とも前事務局長と変わらないご支援を賜りますようお願いいたします。

昨年からの新型コロナ禍により大変な状況が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。私は、健康上の理由により3月末で事務局長を退職いたしました。

本協会の主な活動が緊急事態宣言を受けて休止し、4月の定期総会も書面での開催となったため、皆さまにお礼の気持ちを直接お伝えすることができませんでした。在任した7年間を通じて、会長をはじめ役員の方々と、そして協会の活動を支えていただいているボランティアの方々から、たくさんのアドバイスやご協力を頂いたことに感謝しています。本当にありがとうございました。顧みますと、日本語教室のために毎週活動を続けるボランティアの方々の熱意に驚き、皆さんが活動しやすい場づくりを目指してきたように思います。

今後は、ボランティアの一員として、友好都市との交流、青少年の短期留学派遣、国際理解講座など多くの事業に携わった経験を活かし、協会の活動に関わっていきたくと考えておりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

前

事務局長
(現副会長)

野村 雄三



バンダバーク、ジャック市長と

Message

「伝える」から「伝わる」へ

国際交流協会は「SAIE かわら版」を通じて、活動情報を会員や市民の皆さまに提供しています。皆様方から掲載されている情報に対して、さまざまなご意見をいただきました。これらを参考にしながら、「SAIE かわら版」の見直しを図りました。デザイン面では、今回から紙面のカラー化を図りました。若い世代から高齢者まで、より分かりやすく見やすい誌面になるよう、「読みたくなる広報誌」を目指していきます。また、伝えたい相手に情報を届けるために、新しい媒体も必要になります。各種講座、イベントなどの最新情報や外国人に向けた「やさしい日本語」による“暮らしに役立つ情報”をLINEアプリで発信します。

LINE

公式アカウント

アカウント名：
摂津市国際交流協会
ID：@462xxegy



ぜひ登録
してね！

摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘 5-35
摂津市立コミュニティプラザ 2F
TEL:06-6319-6251 FAX:06-6318-6004
Email: office@settsu-saie.org
URL: http://settsu-saie.org

会員募集

- 年会費：個人 3,000 円 家族：5,000 円 青少年：1,000 円
法人・団体 10,000 円 (1口)
 - 当協会の事業に無料または割引での参加特典がございます。
 - 「かわら版」のお届けと催事参加申込みなども優先的に受け付けます。
- 開室時刻：9:30~12:00、13:00~16:30 (休館：第4水曜日)